

強圧的で理不尽な教育が 何十年も記憶の底によこたわる不幸

日本の傀儡「満洲国」によるものを忘却してはならない

安田敏朗

齊紅深 編著
竹中憲一 訳

▶「満州」オーラルヒストリー
〈奴隷化教育〉に抗して
3・31刊 A 5判526頁 本体5800円
皓星社

記憶に対する解釈が政治的・イデオロギー的になされたとしても、強烈で鮮烈な記憶そのものは、 そう大幅にはかわらないだろう

本書は、植民地教育史を専門とする編著者がこの十年間にあつめた、旧「満洲国」で教育をうけたひとびとの証言集である。取材対象は千二百人をこえ、中国で「日本在華植民地教育体験録」として出版準備がすすんでいるという

二〇年代に証言者が四十名と集申し、二四年から二六年に限定すれば二十人となつてい

ともあるのは、教育に他の選抜肢がなく、親に学費などで負担をかけたつても、やはり植民地支配への憤慨をもちつつ

国旗を学習したあとに、「日本には、編著者が収集した当時の成績表、卒業証書、写真などがふんだんに掲載されており、イメージを喚起する一助となっている。巻末には教育関係の簡単な年表があり、参照しながらよむと一層理解がふかまる。

一〇代の記憶は鮮烈である。強圧的な教育、理不尽な教育が何十年も記憶の底によこたわることとは不幸である。それが日本の傀儡「満洲国」によるものであることを忘却してはならない。ある証言者はいう。「日本では右翼勢力が台頭し、その活動は日増しに激しくなり、昔の夢を再現しようとしている。私たちは昔のことを追憶するにあたり、当時の悲惨と苦痛を決して忘れてはならない。徹底的に帝国主義を葬り去るまで奮闘しようではないか」(五一―五二頁)。日の丸・君が代が理不尽に暴力的に強制される日本の学校教育の現状がある。この引用のよみかけに、まともに対応できるのだろうか。生徒たちは数十年後、一体なにを回想するのだろうか。

「証言者の生年は、一九一〇年から一九三三年にわたる(一九一〇年代が三名、二〇年代前半が十三名、後半が二十七名、三〇年代前半が七名)。民族別(現在の呼称)では朝鮮族三名、満洲族五名、モンゴル族三名以外は漢族。女性四名(うち満洲族が一名)と一割にみえない。一九

の貴重な証言がえられたことを意味している。師範学校(師道学校、といった)を卒業し「満洲国」の教員となった四人の証言もある。このように、「満洲国」および旅順における初等教育から高等教育にかけてのさまざまなレベルでどのような教育がなされていたのかを、かいまみることで

記憶は曖昧になつていないと断言はできないし、あとから操作も当然あるだろう。しかし、記憶に対する解釈が政治的・イデオロギー的になされたとしても、強烈で鮮烈な記憶そのものは、そう大幅にはかわらないだろう。こうした証言は、学問的さかしらふりかきせずに謙虚にきくべきである。

通読して評者の「記憶」にのこったことを列記する。とにかく日本人はよく殴る。意味もなく殴る。中国人差別意識をむきだし、日本人に

「協和語」とよぶこと、これは連帯責任のために「列なちんでむきあい」あつたことを「協和」に称したことをあわせて、「五族協和」の内実を皮肉にも象徴しているようにおもわれる。あるいは、まじめに遠足のはろにがい回顧。わず

「証言者の生年は、一九一〇年から一九三三年にわたる(一九一〇年代が三名、二〇年代前半が十三名、後半が二十七名、三〇年代前半が七名)。民族別(現在の呼称)では朝鮮族三名、満洲族五名、モンゴル族三名以外は漢族。女性四名(うち満洲族が一名)と一割にみえない。一九

は、中国人には「コリアン」といった給食での差別。生徒間の密告(これは日本人によるもの他に、同民族によるものもあったようだ)や「階級服従」とよばれた硬直した先輩後輩関係。学業を中断しての「勤勞奉仕」と日本人生徒の優遇。「国民訓」の暗唱。宮城遙拝のあとに皇帝のいる方角にむかつての遙拝。神社参拜。教科書で「満洲国」の

「証言者の生年は、一九一〇年から一九三三年にわたる(一九一〇年代が三名、二〇年代前半が十三名、後半が二十七名、三〇年代前半が七名)。民族別(現在の呼称)では朝鮮族三名、満洲族五名、モンゴル族三名以外は漢族。女性四名(うち満洲族が一名)と一割にみえない。一九

「証言者の生年は、一九一〇年から一九三三年にわたる(一九一〇年代が三名、二〇年代前半が十三名、後半が二十七名、三〇年代前半が七名)。民族別(現在の呼称)では朝鮮族三名、満洲族五名、モンゴル族三名以外は漢族。女性四名(うち満洲族が一名)と一割にみえない。一九

「証言者の生年は、一九一〇年から一九三三年にわたる(一九一〇年代が三名、二〇年代前半が十三名、後半が二十七名、三〇年代前半が七名)。民族別(現在の呼称)では朝鮮族三名、満洲族五名、モンゴル族三名以外は漢族。女性四名(うち満洲族が一名)と一割にみえない。一九



「証言者の生年は、一九一〇年から一九三三年にわたる(一九一〇年代が三名、二〇年代前半が十三名、後半が二十七名、三〇年代前半が七名)。民族別(現在の呼称)では朝鮮族三名、満洲族五名、モンゴル族三名以外は漢族。女性四名(うち満洲族が一名)と一割にみえない。一九

(近代日本語史)